

シーズンの農機具の手入れと保管



及川 章さん

今シーズンの農作業も終盤を迎え、頑張った我が家の農機具が休眠する季節となりました。そこで、冬期間の農機具（主にトラクターやバインダー、コンバインなど）の保管方法とメンテナンスを奥州市江刺区田原のアグリメンテナンス代表 及川章さん（62）に聞きました。左のトラクターのメンテナンス図解を参考に、真冬の前にしっかりメンテナンスを行い、来シーズンの故障や事故を減らし、快適な農作業を行いましょう。

秋季の農作業終了後、大事な農機具は、**きれいに洗浄し、乾燥の後**下記の点に注意し、手入れと保管を行いましょう。

Point

冬期間は自然放電を防ぐため、バッテリーの接続部分を外しましょう。感電に注意してください。

Point

ユニバーサルジョイントなど露出している動力接続部分は異物やゴミを除去し、グリスの注入やオイルを注油します。

Point

ロータリーの爪は、洗浄し乾燥した後、緩みや磨耗をチェックし、オイルなどを塗布し、防錆を図りましょう。

Point

ラジエータの水量を確認しましょう。クーラントは年1回補充するように心がけましょう。

Point

ゲージでエンジンオイルの確認をしましょう。オイルは補充ではなく、全交換を行いましょう。

Point

タイヤの空気圧を確認。適正空気圧はタイヤ自体に刻印されています。その他、タイヤの劣化など注意します。

最後に図解の通り、洗浄と手入れを行った農機具は、**①屋根のあること、②床面が乾燥していること、③藁やゴミ、雑草などが無いこと、**以上を満たす保管場所に収納しましょう。故障箇所は冬季間に整備を実施してください。

保管と手入れのポイント

保管と手入れのポイントを整理しました。もう一度確認しましょう。

① 洗浄

農機具の洗浄は外見の点検を兼ねて行う。洗浄は大切なことだが、ワイヤー部分の根元から水が入らないように注意する。水が入りワイヤーが作動しなくなる場合がある。また、電装品が濡れないように注意する。洗浄後はすぐに格納せず、十分乾燥させること。

② ガソリンエンジン

保管上燃料タンクを満杯にするか（注）、逆に空にすること。また、コックを閉め、エンジンを始動してキャブレターの燃料を使い切ること。キャブレターのガソリンが揮発したあとの残滓が来年度の始動の際、故障を生じる。春先における農機具の故障の90パーセント近くがこの原因によるもの。また、長期間放置するので、燃料タンクやガソリン缶に漏れは無いか確認しておくことと良い。

（注）震災の教訓から、法定上可能な限り、十分な燃料を確保しておく事も重要。

③ ディーゼルエンジン

冬季に農機具を使用する場合、特にディーゼルエンジンは夏用と冬用で軽油の質が異なる。夏用を冬に使用するとエンジンが始動しない現象が発生する。冬用を夏に使うのはかまわない。

④ オイル交換など

オイル交換は年1回を標準とする。シーズンオフにオイル交換を行う。使ったままのオイルで一冬放置すると不純物が沈殿し故障の原因となる。2～3年に1度、オイルフィルターや燃料フィルターの交換を行う。クーラント液の補充を行う。

⑤ バッテリーの保管

冬季間バッテリーは充電の後、外して保管するのが良い。そのままにしておくと放電する可能性がある。

⑥ 注油

注油は洗浄後、十分乾燥させ、取扱説明書を参考に、冬の保管前に行うこと。油が馴染むまで時間がかかるので、春に注油しても効果は薄い。また、ロータリーの爪など非塗装部分は、防錆を目的に、オイル等を塗布すると良い。

⑦ 保管について

雨風に当たらない、乾燥した場所に保管すること。機械小屋など屋根の下が良い。また、近年の農機具はマイコン内蔵のため、電気関連も湿気に注意を払う必要がある。

ビニールハウス内は日光により、プラスチック部品が劣化するので保管場所に適さない。また、屋外でシートをかけ保管することも良くない。シート内に湿気がこもり、機械内部まで腐食する恐れがある。乾燥している場所でも藁などの近くに置かない事。ネズミによる回線切断の可能性がある。設置型の調整機などもネズミによる回線切断が発生する場合がある。

⑧ その他

農機具の手入れ方法はメーカー、機種により差があります。取扱説明書を参考に各自工夫してください。農機具の故障を発見したならば、冬季間に修理しましょう。長い間使わずに保管するので、忘れてしまします。春作業直前に慌てることの無いように処置をしましょう。

※ご注意

・農機具共済は、共済目的に存在する欠陥、磨耗、腐食、さび、その他自然消耗の損害、消耗部品の損害による波及損害に対しては共済金のお支払いはできません。

・日常の点検整備不良、管理不良による損害は共済金をお支払いできません。

農機具共済については
建物農機具課
TEL 255-6884
まで



数年間交換しなかったオイル(左)と交換時点のきれいなオイル(右)。農機具も自動車同様にこまめなオイル交換が寿命を延ばします。